

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

パブリックサービスR&C合同会社

②事業者情報

名称：アートチャイルドケア志木	種別：認可保育所
代表者氏名：長谷川 照子	定員(利用人数)： 60名(65名)
所在地： 〒353-0007 埼玉県志木市柏町1-6-71	TEL048-485-0123

③評価実施期間

平成28年10月31日(契約日)～平成29年3月31日(評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

- 子どもの探究心を満足させる豊かな保育環境の中で、日々生きる力を育み、遊びを土台とした保育活動を展開しています

子どもの探究心を満足させる豊かな保育環境が整備されています。子どもの心をワクワクさせるロフト・ネット遊具、階段下の空間や絵本コーナー、隠れ家、ミニステージ、螺旋階段、園庭をぐるりと囲んだアスレチックや築山、プール、ベランダから続く移動可能なスペース等、趣向を凝らし、工夫された設備設計は、子どもたちばかりでなく大人も一緒に遊びたくなる空間となっています。さらに畳の部屋や木浴室等も用意されており、小さな子どもも長時間、安心・安全に過ごせる環境が確保されています。子ども達のがのびのびと主体的に活動できる保育環境の中で、日々生きる力を育み、遊びを土台とした体操、リトミック、絵本の読み聞かせ等の活動プログラムを展開しています。子どもたちの声に耳を傾け、積極的に保育士が関わる環境設定を試行錯誤していくことによって、子どもの遊びや生活がさらに豊かになる可能性も秘めています。
- 子どもたちが食に関する豊かな経験ができるよう、多方面からの計画的な食育の取り組みを工夫して実践しています

給食は、噛む力が育つように、食材の切り方や大きさ、固さを年齢や発達に合わせて工夫し、地産地消をモットーに提供しています。今年度は、さつまいもを2階のベランダで育てて栽培・収穫し、おやつで食べ、トウモロコシの皮剥きや野菜スタンプ作り等の食育活動を実践しました。1歳児クラスからのクッキング保育では、乳児のふりかけ・バター・おにぎり・クッキー作りから、年齢に応じてサンドイッチや餃子、おやつ等の手作り体験を毎月楽しみ、年長児はカレーパーティーを企画して、必要な材料を考え近くのスーパーに買い物に行き、食材選びやお金の支払い等、調理に関する一連の取り組みを経験しています。他にも、3歳児では箸の持ち方をアルミフォイルの球やクリップを使い学び、4歳児で配膳シートを活用して配膳の仕方を定着させ、5歳児ではトレーを使っでの配膳練習へと年齢に即した取り組みを工夫しています。食育に対して多方面からの計画的な取り組みがなされています。
- 職員に向けての健康・衛生教育を実施し、職種間で連携しながら、子どもへの指導や保護者への情報提供を行っています

子どもたちの健康は、保育園生活での基本と捉え、健康に関する各種マニュアルの具体化・細分化を実施するとともに、看護師を中心に、保健年間計画を作成し、職員への安全・衛生管理意識や感染症・応急手当等の指導・教育を行い、職員間で連携して子どもの指導・支援ができるよう取り組んでいます。今年度は、下痢・嘔吐時の正しい処置の仕方について職員が実際の場で動けるよう研修を行いました。子どもたちには、各担任と連携しながら、手洗いやうがい、咳エチケット等の必要性を保育の場面で分かりやすく伝え、毎日の生活の中で身に付くようにしています。保護者に対しては、懇談会や保健だよりを通して、季節に応じた感染症や熱中症等の情報について、看護師と保育士とで協力して伝えていきます。

◇特にコメントを要する点

1. 全職員が参画して保育課程の見直し・再編成を行い、保育理念を基にした一貫性のある保育を実践することが期待されます

保育課程には、保育目標及び方針を筆頭に、養護・教育に関する七つの領域に分け、概ねの発達段階に応じた子どもの姿を明示するとともに、保育の特色や地域性を加味した支援、家庭状況を踏まえた保護者支援等の方向性を示しています。しかし、保育理念である「安全・安心・安定した保育」・「生きる力を伸ばす保育」・「地域社会の共存を大切にしたい保育」は保育課程に位置付けられておらず、前園長が単独で作成したものをそのまま引き継ぎ、見直しも行っていない等、保育に関わる職員の参画による話し合い等を通しての編成はなされていません。全職員で保育課程を読み合わせ、保育理念への共通理解を図って保育課程の見直し・再編成を行い、保育理念を基にした一貫性・連続性・特色ある保育の実践に園全体で取り組むことが期待されます。保育の専門サービスを提供するプロとして保護者支援にあたり、保護者の意向を子どもの保育の質の向上に活かす視点や、地域社会との共存を大切に、近隣地域の状況や子育て支援等のニーズの収集・把握に取り組み、園の専門性や特性を活かした地域への情報提供、育児相談等の具体的な事業・活動につなげていく意識を職員間に浸透させることが望まれます。

2. 事業計画・報告をPDCAサイクルによる園の運営管理の中核的な仕組みとして、有効に活用していくことが望まれます

会社の3か年経営方針として「保育業界のエクセレントカンパニーを目指して」を掲げ、3つの基本戦略も明文化し、園長会議等を通して系列各園に周知しています。当園では毎年度、当園の事業計画書と事業報告書を策定しており、事業計画書には園の基本事項や保育理念のほか、保育内容として、①体操、英語等特徴ある保育の導入、②異年齢保育の実施、③食育の充実を掲げています。しかし、会社の3か年経営方針や基本戦略は反映されていないほか、特徴ある保育内容の具体的な取り組みや目指す成果等も明確にされていない点は課題と考えられ、必要に応じて当園の保育課程や指導計画等に具体的に展開して実践・実現を図る等の対応も必要と思われます。今後に向けては、事業計画書の策定に職員の参画や意見の集約・反映に努め、園全体で実施状況の把握や評価を行うとともに、事業計画書の実施結果や達成状況、評価等を事業報告書に明確にし、見直した内容を次年度の事業計画に反映していく等、事業計画・報告をPDCAサイクルによる園の運営管理の中核的な仕組みとして、業務の改善やサービスの質の向上に有効に活用していくことが望まれます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度は、ご利用者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。  
開園5年目で、この度園長が代わったことにより新たな問題点が今回の評価結果に表れました。課題といたしましては、職員間同士の地盤をしっかりと固めること、信頼関係を構築することに努め、今まで培ってきたこの園ならではの良さはさらに伸ばしながら業務の改善やサービスの質の向上を目指していきたいと思っております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり